

また、教育の成果を可視化し教育改善を恒常的に実施する目的で下表の評価項目を設定します。それらを基に、ディプロマ・ポリシー（DP）及びカリキュラム・ポリシー（CP）に則した学修成果・教育成果の状況について、「大学教育センター」「部（入試、学部、大学院）」「室（入試方法研、就職支援、学生・課外活動支援、教育支援）」「責任教員」の4つのレベルで把握し、評価を行います。

評価項目	評価内容・方法	学部		大学院		情報公開	対象レベル			
		調査等の実施時期	検証結果・改善方法	調査等の実施時期	検証結果・改善方法		大学教育センター	学部教育委員会/大学院教育委員会/入試部会議	就職支援室/学生支援室/教育支援室/入試方法研室	所長担任/工口担任/指導教員/科目責任者
履修登録状況	各学位、資格、プログラム等の取得等に向け、履修系統図、履修モデル等に基づいた履修となっているか。			4月(4月入学者) 10月(10月入学者)	指導教員は、学生の履修登録にあたって指導・助言を行う。畜産衛生学位プログラム履修者については、プログラム・コーディネーターも指導・助言を行う。					○
研究題目及び研究計画の状況	各学位の取得に向け、適切な研究計画が立てられているか。			5月(4月入学者) 11月(10月入学者)	指導教員は、学生の研究題目の設定及び研究計画の作成に指導・助言を行う。設定された研究題目及び研究計画は大学院教育委員会において確認し、必要に応じて指導教員にフィードバックする。			○	○	○
単位修得状況	各年次において、カリキュラム・マップに沿った単位の修得がされているか。	9月(前期) 3月(後期)	クラス担任/ユニット担任/指導教員において確認し、必要に応じて学生に個別指導を行う。個別指導を行った学生への指導状況については、毎学期末に学部教育部長に報告する。	3月(4月入学者) 9月(10月入学者)	進捗状況審査会において指導教員が確認し、必要に応じて学生に個別指導を行う。個別指導を行った学生への指導状況については、毎履修年度末に大学院教育部長に報告する。			○	○	○
授業の出席状況	各授業科目において、適切な出席状況となっているか。	9月(前期) 3月(後期)	教育支援室において確認し、必要に応じて学生に個別指導を行う。個別指導を行った学生への指導状況については、毎学期末に学部教育部長に報告する。	3月(4月入学者) 9月(10月入学者)	指導教員において逐次把握し、必要に応じて個別指導を行う。個別指導を行った学生への指導状況については、毎履修年度末に大学院教育部長に報告する。			○	○	○
授業評価アンケート	学生の自己評価、科目全体の評価、授業内容の評価	10月(前期中) 4月(後期中)	アンケート結果は各授業担当者に開示し、改善案等を提出してもらう。教育支援室は、提出された各科目の改善案を取りまとめ、アンケート集計結果とともにを大学教育センター長に提出する。	10月(前期中) 4月(後期中)	アンケート結果は各授業担当者に開示し、改善案等を提出してもらう。教育支援室は、提出された各科目の改善案を取りまとめ、アンケート集計結果とともにを大学教育センター長に提出する。	HP	○	○	○	○
進級・休学・退学・復学状況	課程/ユニット/専攻、学年、男女、理由ごとの進級・休学・退学・復学それぞれの人数と入学者数に対する割合	3月	学部教育委員会、進級・休学・退学・復学状況を取りまとめ、大学教育センター長に報告する。	3月	大学院教育委員会、進級・休学・退学・復学状況を取りまとめ、大学教育センター長に報告する。		○	○		
標準修業年限卒業・修了状況	課程/ユニット/専攻ごとの、標準修業年限卒業・修了者数と入学者数に対する割合、過年度修了者数と平均超過年数	3月	学部教育委員会、毎年度末に標準修業年限卒業状況をまとめ、大学教育センター長に報告する。	3月	大学院教育委員会、標準修業年限修了状況をまとめ、大学教育センター長に報告する。		○	○		
入学者アンケート	APの理解度、入学前の学習状況、志望動機	3月	入学者選抜方法研究室は、分析結果を取りまとめ、抽出した問題点と改善案等を大学教育センター長に提出する。	3月	入学者選抜方法研究室は、分析結果を取りまとめ、抽出した問題点と改善案等を大学教育センター長に提出する。	HP	○	○	○	
卒業・修了者アンケート	DPに掲げる能力・資質の修得状況、学修満足度（学生の自己評価）	5月	教育支援室は、分析結果を取りまとめ、抽出した問題点と改善案等を大学教育センター長に提出する。	5月	教育支援室は、分析結果を取りまとめ、抽出した問題点と改善案等を大学教育センター長に提出する。	HP	○	○	○	
就職先アンケート	DPに掲げる能力・資質の修得状況（就職先による外部評価）	3月	就職支援室は分析結果を取りまとめ、教育支援室と連携して問題点を抽出するとともに改善案を作成し、大学教育センター長に提出する。	3月	就職支援室は分析結果を取りまとめ、教育支援室と連携して問題点を抽出するとともに改善案を作成し、大学教育センター長に提出する。	HP	○	○	○	
インターンシップ	インターンシップ経験者の割合、就職先	3月	就職支援室はインターンシップの実施状況及びインターンシップ経験者の就職状況を取りまとめ、教育支援室と連携して分析結果を踏まえた実施案を作成し、大学教育センター長に提出する。	3月	就職支援室はインターンシップの実施状況及びインターンシップ経験者の就職状況を取りまとめ、教育支援室と連携して分析結果を踏まえた実施案を作成し、大学教育センター長に提出する。	HP	○	○	○	
学生生活実態調査	アルバイト、自学習時間、課外活動状況等	7月(調査報告) 3月(改善案)	学生・課外活動支援室は、調査結果を取りまとめ、分析結果を付して大学教育センター長に報告する。報告内容は学部教育委員会において検討し、必要に応じて改善案を作成して大学教育センター長に提出する。	7月(調査報告) 3月(改善案)	学生・課外活動支援室は、調査結果を取りまとめ、分析結果を付して大学教育センター長に報告する。報告内容は大学院教育委員会において検討し、必要に応じて改善案を作成して大学教育センター長に提出する。	HP	○	○	○	

資格修得状況	各種資格の取得又は各プログラムの要件充足の状況	4月	学部教育部長は、前年度末までの獣医師免許、教職免許、学芸員、食品衛生管理者・食品衛生監視員、家畜人工授精師及び認定牛飼蹄師の資格あるいは任用資格の取得者について取りまとめ、大学教育センター長に報告する。	4月	大学院教育部長は、前年度末までの教職専修免許の取得者及び各種プログラムの要件充足者について取りまとめ、大学教育センター長に報告する。	HP	○	○		
進路状況（就職・進学等）	想定される専門領域への就職率・進学率、学生の希望の達成状況	4月	就職支援室は、前年度卒業者の進路状況を取りまとめ、大学教育センター長に報告する。	4月	就職支援室は、前年度修了者の進路状況を取りまとめ、大学教育センター長に報告する。	HP	○	○	○	
学修ポートフォリオ	各年次終了時における学修活動の振り返り	7月(分析報告) 3月(改善案)	クラス担任/ユニット担任/指導教員は、各履修年度の始めと終わりに、学生の目標設定と自己評価に対する指導・助言を行う。目標設定と自己評価の結果は、教育支援室で取りまとめ、分析結果を付して大学教育センター長に報告する。報告内容は、学部教育部長会議において検討し、必要に応じて改善案を作成して大学教育センター長に提出する。	7月(分析報告) 3月(改善案)	指導教員は、各履修年度の始めと終わりに、学生の目標設定と自己評価に対する指導・助言を行う。目標設定と自己評価の結果は、教育支援室で取りまとめ、分析結果を付して大学教育センター長に報告する。報告内容は、大学院教育部長会議において検討し、必要に応じて改善案を作成して大学教育センター長に提出する。		○	○	○	○
アセスメント・テスト	基礎的な専門知識、技能の定着	獣医：前期(実施) 10月(改善案) 畜産：後期(実施) 3月(改善案)	共同獣医学課程では、5年次の始めに獣医学共用試験を実施して獣医師免許取得に向けた学修到達度を調査する。畜産科学課程では、2年次末及び4年次末にアセスメント・テストを実施して学修到達度を調査する。実施結果は教育支援室で分析して問題点を抽出し、改善案を大学教育センター長に提出する。	2~3月(4月入学者) 8~9月(10月入学者)	各履修年度末に、指導教員の責任の下に進級試験を実施し、進級試験の結果を大学院教育部長に報告する。		○	○	○	○
シラバス	シラバスの活用状況（教員・学生）及び評価（学生）	3月	教育支援室は、調査結果を分析して問題点を抽出し、調査結果と改善案を大学教育センター長に提出する。	3月	教育支援室は、調査結果を分析して問題点を抽出し、調査結果と改善案を大学教育センター長に提出する。		○	○	○	○
ルーブリック	ルーブリックの活用状況（教員）	3月	教育支援室は、調査結果を分析して問題点を抽出し、調査結果と改善案を大学教育センター長に提出する。				○	○	○	○
GP	科目ごとのGPの分布・標準偏差・中央値	9月(前期) 3月(後期)	教育支援室は、各科目のGPの分布状況、標準偏差及び中央値を取りまとめ、調査結果を大学教育センター長に報告するとともに、必要に応じて科目責任者に改善を求める。				○	○	○	○

【結果の自己点検・評価体制】

